

## ▽▲二代目帆船「日本丸」4年ぶり海外へ▲▽

関西地方支部

### ★神戸からシンガポールに向けて出港★

1月6日に神戸港新港第1突堤で、4年ぶりの遠洋航海に向かう海技教育機構の練習帆船「日本丸」船上で出航式が開催された。国内5高等専門学校の子生 99 人(うち女子 19 人)が航海実習に参加。2月8日に東京港に到着するまで、約1カ月の航海となる

### ■船上での出航式は学生への期待の大きさがうかがえた

式典には関西地方支部から、浦隆幸地方支部長をはじめ、2人の執行部員が参加した。式中、号令の度、学生の本剣なまなざしに不安と期待が見て取れた。

あいさつ	臼井謙彰神戸 運輸監理部長	行先であるシンガポールは日本と欧州、中東を結ぶ海上交通の要所。航海実習を経て、無事帰港されることを願う
	来賓各位	
花束贈呈	神戸親善大使	船長、機関長、学生代表へ彩が添えられた
あいさつ	藤江普平船長	冬の厳しい航海実習を乗り越え、成長した学生と帰港する

### ■帽振れ

14 時になり、銅鑼の音とともにオールラインレッコ、タグラインがゆっくり引かれ「日本丸」は離岸した。船上では乗組員や学生が「帽振れ」の号令で、見送る人々へ一斉に敬礼し、一斉に帽子を振る「登舷礼」で別れを告げた。岸壁で見送る家族や関係者などが、UW旗を力強く振る光景が印象的であった。この日は式典に先立ち、神戸市が「日本丸」船内見学会を開催したこともあり、帆船ファン、関係者、乗組員や学生の本族など多くの人が見送りに集まり、にぎやかな門出となった。

「海員だより」